

千葉地域農林業センター 使用料改定の考え方について

1 現行利用料金

区分	使用料(1時間につき)	
	午前9時から午後5時まで	午後5時から午後9時まで
会議室	200円	250円
近代化室	250円	300円
和室	100円	150円

2 使用料改定の考え方

- 「千葉市公共施設使用料等算定基準」（市財政局）による。
- 積算方法

【算定式】

$$\text{料金単価} = \text{管理コスト} \times \text{受益者負担率} \div \text{想定利用数}$$

3-1 料金の試算

(2) 管理コスト

	R5	R6	平均(2カ年)
人件費	4,036円	5,295円	4,665円
物件費等	783,683円	790,226円	786,955円
物件費等(ガス除く)	747,451円	754,589円	751,020円
合計			<u>791,620円</u>
合計(ガス除く)			<u>755,685円</u>

人件費 = 施設稼働に係る人件費 (利用実績件数 × 12分 / 60分 × 時給)

物件費 = 警備業務委託料、清掃業務委託、電気料金、
プロパンガス (近代化室のみ) の合計

(3) 受益者負担率

ア 地域分類の考え方

千葉地域農林業センターは、農林業の振興を図るため、農林業従事者及びその後継者の農林業の経営、技術等に関する研修のための施設として県により建設され、本市が管理運営している。

利用者については旧千葉支庁管内（千葉市、習志野市、八千代市、市原市）の農林業者を想定して設置されており、広域型便益施設に位置付けられる。

(3) 受益者負担率

イ 施設の公的必要性による区分

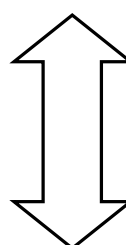
各施設は、以下の区分により受益者負担率を決めるものとする。

区 分	施 設 の 内 容	公的必要性
①	市民が社会生活を営む上で必要な水準を提供する施設や社会的弱者等を擁護するための施設、教育を補完する施設等公共性の高い施設等 (福祉的施設等)	<div>大</div> <div>↑</div> <div>↓</div> <div>小</div>
②	一定の公共性のもと、特定の受益者の利便を図る施設等 (スポーツ施設、広域型・地域型便益提供施設等)	
③	民間企業と同等のサービスを提供する施設等 (収益型・準収益型施設等)	

3-4 料金の試算

(3) 受益者負担率

ウ 施設の収益可能性による区分

区 分	施 設 の 内 容	収益可能性
A	収益性が全く無いか極めて低く、民間企業によるサービスの提供が困難な施設	小
B	収益性が低く施設の収益だけでは管理運営費をまかなうことが困難な施設	
C	相当の収益性があり、施設の収益をもって相応の管理運営費をまかなえる施設	大

3-5 料金の試算

(3) 受益者負担率

エ 行政と受益者の負担割合の設定（受益者負担率）
行政と受益者で負担すべき割合を以下のように設定する。

收益可能性	大	C	行 70% 受 30%	行 30% 受 70%	行 0% 受 100%	
		B	行 80% 受 20%	行 50% 受 50%	行 30% 受 70%	
	小	A	行 100% 受 0%	行 80% 受 20%	行 70% 受 30%	
			①	②	③	
			大	公 的 必 要 性		小

3-6 料金の試算

(3) 受益者負担率

才 施設の分類

収益可能性	大	C			収益型施設	
	B		スポーツ施設 広域型便益提供施設		準収益型施設	
	A	福祉的施設	地域型便益提供施設			
	小	①	②	③		
		大	公 的 必 要 性			小

3-7 料金の試算

(4) 利用可能コマ数、R5～R6年度の利用率の平均（稼働率）

1コマ = 1時間

会議室

	R5	R6	平均(2か年)
利用可能コマ数	2336	2344	2340
利用コマ数	56	79	68
利用率(%)	2	3	3

近代化室

	R5	R6	平均(2か年)
利用可能コマ数	2336	2344	2340
利用コマ数	148	141	145
利用率(%)	6	6	6

和室

	R5	R6	平均(2か年)
利用可能コマ数	2336	2344	2340
利用コマ数	13	16	15
利用率(%)	0.56	0.68	0.62

3-8 料金の試算

(5) 料金計算

$$\text{料金単価} = \frac{\text{管理運営コスト} \times \text{受益者負担率}}{\text{利用可能コマ数} \times \text{稼働率} \times \text{施設種別ごとの利用室平均面積}}$$

<会議室>

$$\text{m}^2\text{単価} = \frac{755,685 \times 50\%}{2340\text{コマ} \times 3\% \times 134.17} \div 40\text{円/m}^2/\text{コマ}$$

$$1\text{hあたり単価} = 40 \times 134.17 \div 5,366\text{円/コマ (まるめ)} \quad 5,360\text{円/コマ}$$

$$\text{午後5時から午後9時} \quad 5,360\text{円} \times 1.25 = 6,700\text{円/コマ}$$

3-9 料金の試算

(5) 料金計算

$$\text{料金単価} = \frac{\text{管理運営コスト} \times \text{受益者負担率}}{\text{利用可能コマ数} \times \text{稼働率} \times \text{施設種別ごとの利用室平均面積}}$$

<近代化室>

$$\text{m}^2\text{単価} = \frac{791,620 \times 50\%}{2340\text{コマ} \times 6\% \times 99.43} \div 28\text{円/m}^2/\text{コマ}$$

$$1\text{hあたり単価} = 28 \times 99.43 \div 2,784\text{円/コマ (まるめ) } 2,780\text{円/コマ}$$

$$\text{午後5時から午後9時} \quad 2,780\text{円} \times 1.2 = 3,336\text{円 (まるめ) } 3,330\text{円/コマ}$$

3-10 料金の試算

(5) 料金計算

$$\text{料金単価} = \frac{\text{管理運営コスト} \times \text{受益者負担率}}{\text{利用可能コマ数} \times \text{稼働率} \times \text{施設種別ごとの利用室平均面積}}$$

<和室>

$$\text{m}^2\text{単価} = \frac{755,685 \times 50\%}{2340\text{コマ} \times 0.62\% \times 54.99} \div 473\text{円/m}^2\text{/コマ}$$

$$1\text{hあたり単価} = 473 \times 54.99 \div 26,010\text{円/コマ}$$

$$\text{午後5時から午後9時} \quad 26,010\text{円} \times 1.5 = 39,015\text{円/コマ} \quad (\text{まるめ}) \quad 39,010\text{円/コマ}$$

4 使用料改定の概要

施設名	設備概要	面積	本体料金			
			利用区分	現行	試算	現行の1.3倍
千葉地域 農林業セ ンター	会議室	134.17㎡	午前9時から午後5時まで	200円	5,360円	260円
			午後5時から午後9時まで	250円	6,700円	320円
	近代化室	99.43㎡	午前9時から午後5時まで	250円	2,780円	320円
			午後5時から午後9時まで	300円	3,330円	390円
	和室	54.99㎡	午前9時から午後5時まで	100円	26,010円	130円
			午後5時から午後9時まで	150円	39,010円	190円